

# 博物館あれこれ

■平成24年度 4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月

## 3月(弥生)

3月3日  
春まつり



ミュージアムコンサートとしてジルフェさんのライアー（竖琴）の演奏ほか、縄文体験として弓矢体験やイノシシカ肉の料理販売などを行いました。

3月22日  
速報展



「発掘された鈴鹿2012」です。今回の目玉は門山遺跡出土の伊勢型二重口縁壺で、マニアの方はさっそく底部の穿孔を覗きこんでおられました。

3月23日  
入門講座



愛知県埋蔵文化財センターの早野さんに「土師器からみた古墳時代」をテーマにお話ししていただきました。

## 2月(如月)

2月17日  
ぼや騒ぎ



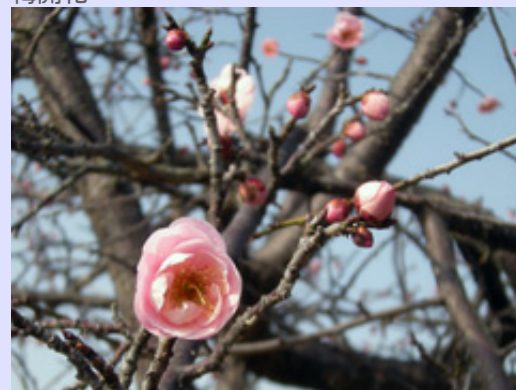
博物館の西の畑で枯れ草火事があり、7台も消防車が駆け付ける騒ぎになりました。館の敷地には影響は有りませんでした。乾燥しきっているこの時期、火の元には注意したいものです。

2月26日  
国分寺跡



国分寺跡の整備がずいぶん進みました。作業しているのは金堂跡の基壇の盛土です。後ろは講堂跡。こうして見ると規模の大きさに圧倒されます。

2月26日  
梅開花



博物館西のガイダンス広場の梅がようやく花開きました。昨年に引き続き遅れ気味の開花です。

## 1月(睦月)

1月12日  
企画展



企画展「北勢の古代瓦と寺院」が始まりました。もうすぐ国分天神の梅の花でにぎわいますが、古びた蓮華(ハス)の花模様もあわせてどうぞ。

1月19日  
講演会



近畿大学の太脇先生に「瓦から解き明かす北勢の古代寺院」と題してお話いただきました。

1月26日  
とんぼ玉を作ろう



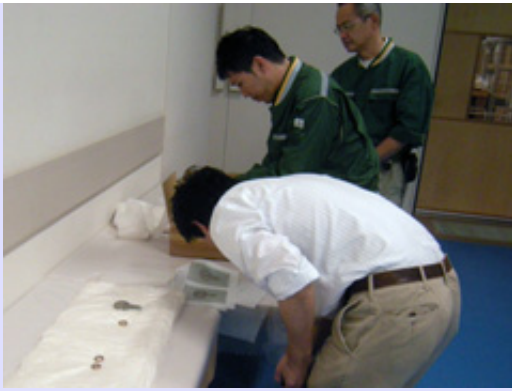
恒例のとんぼ玉作りです。今回も予約がいっぱいになりました。

## 12月(師走)

12月5日  
資料返却

12月12日  
勾玉作り

11月19日  
ゆるキャラ



特別展の資料の返却で東京国立博物館に来て  
います。借用品に異常がないことをチェッ  
クしていただいています。



三重大学国際交流センターの留学生一行が  
見学と勾玉作りの体験に来てくれました。



鈴鹿市社会福祉協議会の方が市内施設を  
facebookで紹介するというので取材に来  
られました。鈴と鹿をモチーフにしたゆるキ  
ャラが展示を見学する様子です。

## 11月（霜月）

11月17日  
特別展関連講演会



特別展関連講演会の第2回目は、立命館大  
学教授の和田晴吾先生に、「東アジアと古墳  
文化の大変革」というテーマでの語って  
いただきました。

11月18日  
みえ生涯学習ネットワーク交流会



津市の三重県総合文化センター・三重県男  
女共同参画センターで開催されたみえ生  
涯学習ネットワーク交流会「地域『学』フェ  
スティバル」に参加して、国分寺跡のミニ展  
示と伊勢型紙しおりづくりを行いました。

## 10月（神無月）

10月20日  
入門講座



入門講座の第1回目は当館の田部さんによ  
る考古研究者側からみた科学的年代測定法  
の話でした。

10月21日  
ドングリ1



博物館の周囲の植栽はドングリ類を中心  
に構成されています。マテバシイはもうか  
なり実を落としてしまいましたが、シイ類  
はそのまま食べることができるドングリ  
です。

10月21日  
ドングリ2



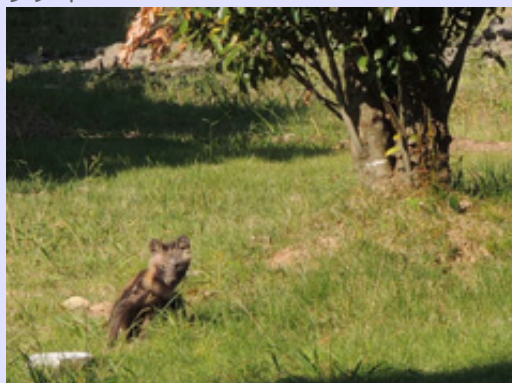
博物館前の築山のスタジイです。虫害と  
台風にやられて木の見栄えは良くない  
ですが、まあ実が付いています。生でも  
煎ってもおいしく食べられるドングリ  
です。

10月21日  
ドングリ3



こちらはシラカシで、縄文人になら  
ってしっかりあく抜きをしなければ  
食べることができませんが、実は  
鈴なりです。ドングリ拾いには  
是非どうぞ。

10月上旬  
タヌキ



木の実や虫が豊富なためかガイ  
ダンス広場周辺にタヌキが住み  
ついています。ちょっと痩せ  
すぎで、らしくは無いですが。

## 9月（長月）

9月9日  
カゴを編もう



好評の体験講座"つるでカゴやランプシェードを編もう"です。

9月12日  
職業体験



地元の中学校から3名が職業体験に来てくれました。勾玉材料の加工を手伝ってもらっています。

9月12日  
サテライトミュージアム



河曲公民館の一角をお借りして八重垣神社遺跡の発掘成果についてミニ展示を設けました。

9月12日  
観月会リハ



30日の十五夜観月会・ミュージアムコンサートにむけて舞台や椅子のセッティングの確認をしました。サポート会や地元国分町手作りの灯火など準備は万端でしたが、本番は台風の直撃で中止となってしまいました。残念。

9月29日  
特別展



市制70周年記念特別展のオープンです。今回は市内出土で各地の博物館や個人が所有されている優品をできるだけ集めてみました。

9月30日  
関連講演会



29日にオープンした特別展の関連講演会です。鈴鹿市文化財調査会の伊藤久嗣さんに「鈴鹿の考古楽」という題で地元の遺跡の特色について熱く語っていただきました。

## 8月（葉月）

8月8日  
グリーンカーテン



出遅れ気味にスタートしたグリーンカーテンがここまで成長しました。左からヘチマ、ヒョウタン、ゴーヤです。

8月9日  
耳飾りをつくろう



保子里1号墳から出土した金垂飾付耳飾にも使われている兵庫鎖の技術を使ってアクセサリーを作りました。

8月11日  
虫カゴを作ろう



麦わらを折り曲げながら組み上げていく昔懐かしい工作です。デザインにも優れているので大人の方もやってみたいという声をよく聞く、人気の講座です。

8月12日  
蓮池



玄関先を涼しくしようと、ベンチ前によしずの日陰と蓮池を作りました。風鈴が爽やかに鳴り、メダカやカエルも泳いでいます。

8月19日  
遺跡見学会



現在発掘調査中の磐城山遺跡の見学会です。体験発掘も行い、土器が顔を出し始めると「もっと掘りたい」という声が上がっていました。

## 7月（文月）

7月18日  
資料借用



今回の企画展の資料借用は3日間です。この写真は個人の方が所蔵しておられる三重県指定文化財の一品ですので、緊張します。

7月20日  
企画展前夜



何とか資料とキャプションをセットして準備が整いました。

7月21日  
講演会



田原本町総合政策課の豆谷和之さんに「弥生土器のミカタ」というテーマで講演していただきました。ご自身が伊勢出身で実家は伊勢うどん屋という紹介から、いかに考古学を志したかというお話の中で藤森栄一や森本六爾といった弥生研究史へと流れを持って行くなど、大変聞きやすかつ熱い話に皆さん引きこまれておられました。

## 6月（水無月）

6月17日  
入門講座



三重県教育委員会事務局の竹内英昭さんに「瓦で推理する三重のオモシロ古代」というテーマでお話しいただきました。いつもながら、講演後の質疑応答が盛り上がっていました。

6月12日  
三重県博物館協会



三重県博物館協会の総会が当館で開催されました。

6月20日  
資料調査



大阪府文化財センターへ資料調査です。ずらっと弥生土器を用意し観察させていただくと、実測図や写真で予想しているのは格段の違いがあります。ただし、扱いを損ねたら大ごとなので緊張感maxです。

## 5月（皐月）

5月9日  
出前授業（1）



四日市市の八郷西小への出前事業です。キャリア教育に力が入られているようで、この仕事を選んだ理由？とか博物館で働くことは？といったインタビューのコーナーもありました。

5月13日  
スライド説明会



昨年度調査を行った伊勢国府跡など3遺跡の成果について、調査担当者が解説を行いました。

5月17日  
出前授業（2）



深伊沢小学校での出前事業です。校区内で発掘された弥生土器などに触ってみる体験もしてもらいました。

## 4月（卯月）

4月7日  
サポート会総会

4月7日  
サポート会研修会

4月12日  
新採研修



サポート会の総会が行われました。新入会員には愛知県在住の方もおられるようです。

4月13日  
出前授業



出前授業として郡山小学校にお邪魔しました。学校周辺の郡山遺跡群の土器を見せ説明したあと、勾玉作りを行いました。



総会の後は研修会を兼ねた講演が行われました。斎宮歴史博物館の新名さんが「斎宮発掘最前線～「いろは歌」墨書土器と斎宮」という内容で語られました。ニュースで話題となった遺物に関する話とあって、会員だけでなく多くの方々に聴講していただきました。

4月24日  
出前授業(2)



清和小では、火起こし体験を行いました。



鈴鹿市の新規採用職員が施設見学に訪れました。小学校の社会見学で当館に来て勾玉を作った覚えがあるという新人もいて、開館から14年という時を感じます。

**博物館あれこれバックナンバーへ  
ホームページに戻る**